

すべての人の「生きる」に向き合う

創業以来、変わることはない存在意義

創業時の国内の医薬分業率は、5%にも満たない状況でした。あれから43年、国内の分業率はようやく80%に近づきつつあります。その間、私たちはさまざまな挑戦と努力を重ねてきました。私たちが「真の医薬分業の実現」を志した理由、それは「あらゆる人の健康に資すること」。

つまり、社会の隅々まで医療が行き渡る社会です。この想いは変わることはありません。これからもこの志を胸に、生活の一番近くで医療を担う者として、お一人おひとりの「生きる」に真摯に向き合い続けていきます。